



お茶香るまち

No.195

さやま 議会だより

平成29年11月

◆ 議員自ら飾りつけ



▼ 子ども議員をお出迎え



▲ 友好交流都市津南町で
災害への備えを視察



◆ 議員も一緒にまつりを盛り上げ

議案質疑	常任委員会から要望指摘事項を提出	_____	2~4
要望指摘事項、討論	_____	_____	5
委員会	_____	_____	6
一般質問(17人)	_____	_____	7~15

9月定例会

狭山市議会ホームページ <http://www.city.sayama.saitama.jp/gikai/>
狭山市公式モバイルサイト <http://www.city.sayama.saitama.jp/mobile/>

議会だよりは定例会(年4回)終了後に発行します

常任委員会から要望指摘事項を提出

第3回定例会では、「平成28年度一般会計歳入歳出決算認定」など、20議案が市長から提出されました。議長を除く21人の議員で採決した結果、すべての議案を原案のとおり可決・同意・認定しました。（採決の結果は4ページ）

主任介護支援専門員とは
介護保険サービスや医療サービスを提供する方との連絡調整、介護支援専門員に助言・指導などを行う専門職。実務経験5年以上で、地域包括支援センターなどに配置されています。

9月定例会
9月1日～9月29日

入曽地区地域交流施設(仮称)整備事業の審査も



道路認定の議案では現地調査を実施

主な議案審議

◆農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例

法律の改正に伴い、農業委員と農地利用最適化推進委員の定数を定めるもの

Q 農地利用最適化推進委員の設置の経緯と役割は。

A 法律の改正により、農業委員会の重点業務として農地利用の最適化の推進が明確化され、地域での活動を担うものとして設置する。

Q 農業委員会全体では定員増となるが、その狙いは。

A 法律改正の目的が、遊

休農地の発生防止・解消に向けて、担い手農家への集積・集約化、新規参入の促進といった農地利用の最適化を果たすことにあり、農業委員会の機能強化を図ることとした。

◆地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

介護保険法施行規則の改正に伴い、主任介護支援専門員の規定を改めるもの

Q 主任介護支援専門員の更新研修導入の背景は。

A 主任介護支援専門員には、地域包括ケアシステムを実現するための役割が求められており、知識や技術、

資質の向上を図る機会として、定期的な更新制が導入された。

Q 研修の具体的な内容は。

A 主任介護支援専門員に必要な能力の保持・向上を目的として、実践の振り返りと指導支援を中心に、介護保険制度と地域包括ケアシステムの動向、認知症に関することなどを学ぶ。

◆一般会計補正予算(第2号)

住基システムに旧姓を併記するための改修を行うメリットは。

A 現在の氏名と旧姓が併記された証明書などを受け取ることが可能になる。公的な書類に旧姓を併記

するメリットは、戸籍上の姓と旧姓を使い分けている方にとって、自分の身分証明ができたり、今まで積み上げてきたキャリアが分断されることなくそのまま生かせるようになる。

用地などの売却、ふるさと納税のPRや返礼品の拡充などに取り組んできた。特に徴収事務は、効率的な滞納処分を実施するため、臨時職員を3名採用し、体制の強化を図った。

◆狭山市駅東口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)

Q 東口区画整理事業の清算金の徴収・交付の時期は。

A 平成29年度末に予定している換地処分後、登記や清算金確定通知の発送などの諸手続を行う必要があるが、30年秋ごろを予定している。

Q 市税の不納欠損が前年よりも7333件増加し6千440件、約1億3000万円となっているが、見解は。

A 増加の要因は、納税者の高齢化と疾病などによる収入減、稼働年齢層の離職後の未就労や非正規雇用に伴う低収入などにより、担税力のない滞納者が継続的に発生しているためと考えられる。今後も納税相談、財産調査などをおとして、生活力を十分把握し、適正な滞納整理を実施する。

平成28年度一般会計決算認定

【歳入】

Q 実質単年度収支が6年ぶりの黒字となったが、自主財源の確保に向け、どのように取り組んできたのか。

A 市税の徴収強化や未利

Q ふるさとモノづくり応援プロジェクト事業寄附金の内訳は。

A 10万円が1社、5万円が1社、3万円が3社、1万円が2社の合計26万円。



【歳出】

◆全般◆

Q 社会的要因に伴う28年度における歳出の傾向は。

A 義務的経費は依然として社会保障関連経費である扶助費が増加している。公債費は、臨時財政対策債の償還元金の増により増加、人件費は、職員数の削減などにより減少した。経費削減に努めた結果、物件費や補助費などが減少しているほか、普通建設事業費についても減少となった。

Q 28年度予算は、小谷野市長就任後、初めて編成したもののだが、廃止した事業の件数と金額は。

A 廃止した事業は、平和意識高揚事業と開放プール等管理事業の2件で979万7千円。個別では、原子爆弾被害者見舞金、敬老祝い

金、長寿者家族慰労品などの3件で、2千946万9千円。合計で5件、3千926万6千円である。

◆安全◆

Q 交通安全施設整備事業費の執行額は前年度の約半分だが、当初の計画に対応できたのか。

A 小中学校からの要望で区画線設置工事を実施した。また、自治会からの要望で、道路反射鏡設置工事を実施し、安全確保に努めた。不用額は、道路照明灯の設置工事がなかったことや道路反射鏡の設置工事が減少したため。

◆福祉◆

Q 障害者差別解消法施行後の具体的な取り組みは。

A 公式ホームページや広報さやま、さらにパンフレット、チラシを作成し、介護保険事業所や工業会会員、各種イベントで配布するなど、さまざまな手法、媒体を活用し、周知啓発した。職員

には、新入職員研修など、体系的に実施している。



Q 保育所の待機児童は。

A 28年度末現在145人、29年度当初の待機児童数は46人。

Q 家屋等消毒委託料の内容は。

A 昨年の台風9号で、多くの家屋が床上・床下浸水したことから、家屋の敷地と床下の消毒を早急に行うため、専門業者に委託して実施した。9月1日から集中的に消毒作業を実施し、223軒の消毒を実施した。

Q 急患センターの受診者が減少傾向にあるが、どう考えるか。

A 26年度までの受診者数は、ほぼ横ばいだったが、27

一般会計決算

常任委員会からの 要望指摘事項 (一部要約)

■ 総務経済委員会

- 1 市民会館周辺の交通対策については、駐車場の確保や周知を徹底し、交通渋滞の緩和に努められたい。
- 2 高齢ドライバーによる交通事故を減らすため、高齢者の運転免許返納率を高めるための施策の充実を図られたい。
- 3 農業の振興については、意欲ある農家の生産拡大や高品質化に向けた取り組みのため、若手の農業後継者の更なる育成・支援に努められたい。
- 4 契約事務に当たっては、疑念を持たれることのないよう、更なる適切な事務執行に心がけられたい。

■ 文教厚生委員会

- 1 ふれあい健康センター等の施設の利用率向上に取り組み、市民が主体となる健康増進の

- 一層の充実を図られたい。
- 2 障がい者用の災害備蓄品に関し、発災時に有効に活用できる体制を整備されたい。
- 3 児童・生徒のいじめ・不登校などの未然防止・早期解決に向け、相談員やスクールソーシャルワーカーなどの増員を図られたい。
- 4 小中学校の管理事業費に関し、教育環境整備の観点から、必要な予算確保、および執行に努められたい。

■ 建設環境委員会

- 1 空き家のデータベースの整備を進め、空き家の対策、活用を推進されたい。
- 2 智光山公園において、スケールメリットを活かし、新たな施設を設置するなど更なる活用を図られたい。



市長に要望書を提出

討論 議案に賛成・反対します

◆ 平成28年度 一般会計歳入歳出決算認定



賛成討論(要旨)

まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけた多彩な事業の実施、また、市内外への情報発信の取り組みも活発に行われ、市の魅力を例年とは違った角度で発信できたことなど、新しい取り組みは高く評価できる。

市税全体で、前年度比3億7,500万円の歳入増であった。今後も市税の収納率向上や新たな財源の確保をお願いしたい。ふるさと納税返礼品制度は財源確保やシティプロモーションの面から、情報政策官の任用は電子自治体推進の面から、一層の効果アップを希望する。子ども医療費の支給は、中学3年生までの子どもの健全な成長と経済負担の軽減になり、子育て世代にとって大変心強い。ふるさとモノづくり応援プロジェクト事業は、市民の地元への愛着と誇りの醸成や若い世代のものづくりへの興味や関心を図ったものであり、これまでにない取り組みにより地域の活性化を図ったことは評価したい。

反対討論(要旨)

実質単年度収支では、6年ぶりに1億6千万円が黒字となったが、これまで市が実施してきた市民サービス、福祉事業、平和事業が見直されて削減されたことなども、黒字となった要因の一つではないか。

基地交付金は、入間基地の固定資産税相当額21億円に対し約3割、6億5,500万円分しか交付されていない。狭山市駅西口駐車場の指定管理業者から、市に3,400万円支払われている。学生の駐輪代や中央公民館使用者の駐車代を無料にすべき。「狭山市の財政が厳しい」と言うが、一般家庭の預貯金にあたる財政調整基金は41億円あり、近隣市の中でトップクラス。もっと市民サービスのために活用すべき。障害者へのタクシー補助券やガソリン券の減額など事業の削減・縮小で約4,500万円を削減しているが見直しを。保育所の待機児童は当該年度末では145人。学童保育の待機児童も58人いる。早期解決を

狭山市駅加佐志線整備事業費中、用地測量と調査業務の内容は。29年度からの用地取得に向けた用地測量、買い取り価格を決める土地鑑定評価、建物補償などの算定のための物件調査、道路の雨水処理のための排水施設やその経路の検討業務である。

入曾駅周辺整備事業費中、地区の活性化向上のための企業ニーズ調査の内容は。駅周辺の活性化や利便性の向上を考慮し、商業系企業4社、マンション系企業3社を対象としたヒアリングを実施し、入間小学校跡地への進出について意向を把握した。

◆ 都市計画 ◆

狭山市駅加佐志線の進捗状況は。26年度から関係地権者への個別説明をはじめ、各種調査や道路の設計を基に、29年度より用地取得に着手している。



重点事業である中学生学習支援事業の評価は。アンケート結果では、参加した生徒から、「分からないことがあるとき、丁寧に教えてもらえてありがたい」という言葉が大変多く聞かれ、「テストの順位が上がった」「勉強する習慣がついた」など本事業の成果といえる声があった。課題は、全体登録者数が少ないことや、登録者数に対して参加人数が少ない中学校区があること、開催日時や広報の方法を検討し、参加率の向上を図りたい。

重点事業である中学生学習支援事業の評価は。アンケート結果では、参加した生徒から、「分からないことがあるとき、丁寧に教えてもらえてありがたい」という言葉が大変多く聞かれ、「テストの順位が上がった」「勉強する習慣がついた」など本事業の成果といえる声があった。課題は、全体登録者数が少ないことや、登録者数に対して参加人数が少ない中学校区があること、開催日時や広報の方法を検討し、参加率の向上を図りたい。

採決の結果

平成29年第3回定例会では、市長提出議案20議案を審議し、採決の結果、すべて可決・同意・認定しました。

◆ 賛否が分かれた議案 起立(賛成・同意)…○、着席…×、退席…退、討論者…討、議長は採決には参加しません

Table with columns for 議案番号, 議案名, 会派名, 議員名, and various political parties (創政会, 創造, 公明党, etc.) with voting symbols (○, ×, 退, 討).

◆ 全員が賛成した議案 条例の制定 農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例 条例の一部改正 地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例 補正予算 一般会計(第3号)、国民健康保険特別会計(第2号)、狭山市駅東口土地区画整理事業特別会計(第1号)、介護保険特別会計(第1号)、後期高齢者医療特別会計(第1号) 決算認定 狭山市駅東口土地区画整理事業特別会計、後期高齢者医療特別会計 未処分利益剰余金の処分 水道事業会計、下水道事業会計 その他 市道路線の認定(2議案)

そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネット録画配信をしています。また、議員名の横の2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)。



公共交通の充実と 狭山市の利便性の向上

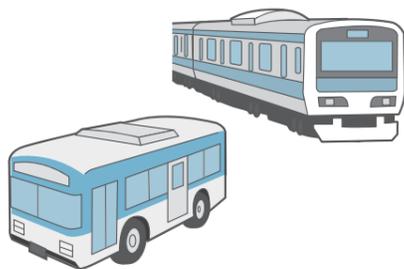
土方 隆司 (新政みらい)



その他のテーマ

- ▶ 鉄道輸送の充実
- ▶ バス輸送の充実
- ▶ 良好な公共交通の形成

しいと考えている。市民の生活圏の拡大と、利用者の利便性の向上の観点から、市内循環バスの入曽西循環コースを武蔵藤沢駅まで延長することについて、狭山市地域公共交通会議で協議しており、今後並行して入間市とも調整していきたい。



◆狭山市の公共交通の充実を!

①狭山市民なら一度は経験があるであろう「新所沢駅止まり」の不便さの解消や、西武池袋線への乗り入れなど、鉄道輸送のさらなる充実を図る必要があると考えるが、市の見解は。

②利便性の向上のために、入曽駅と武蔵藤沢駅を結ぶバス路線の新設などが必要と考えるが、市の見解と取り組みは。

市民部長 ①鉄道事業者には、輸送力の増強という点ではスピードアップや安定運行、運行時間の延長などを、また、利便性の向上という点では西武池袋線の直通運転や乗り換え時間の短縮などを引き続き要望していく。

②西武新宿線入曽駅と西武池袋線武蔵藤沢駅をつなぐバス路線は、バス事業者による運行は難



狭山市の将来を考えた 「行財政改革」を!!

内藤 光雄 (新政みらい)



その他のテーマ

- ▶ 行財政改革の成果と課題は
- ▶ 重要となる視点や注意点は
- ▶ 経営を視点に入れた狙いは

取り組んできた。これからの行財政改革は行政コストの削減だけでなく、ヒト、モノ、カネ、情報といった行財政資源をいかに効果的に配分し、活用していくかが重要となる。

◆今後の行財政改革の推進に当たって

社会経済の環境が変化する中で、重要となる視点や注意する点は。

総合政策部長 市民生活などに少なからず影響を及ぼすため、市民の理解と協力を得るとともに、職員に対しては不断の思いで行財政改革に取り組む意識づけが重要である。また、こうした取り組みによって、どのように行財政の改革がなされるのか、その戦略も説明し、理解を得ていきたい。



行財政改革の一層の推進を

常任委員会からの活動報告

9月定例会の常任委員会で審査した議案や所管事務調査などの中から、概要をお知らせします。

狭山市のふるさと納税の状況は

総務経済委員会

◆一般会計歳入歳出決算認定
市へのふるさと納税額と市外への納税による市民税控除額の実績・影響は。

▲ふるさと納税額は、平成28年度に返礼品の送付を開始したことから、27年度の約436万円から約1千825万円に増加した。一方で、市外への納税額も増えており、市民税控除額は27年度の約4千126万円から約8千462万円と増加している。29年度も差額が生じるものの、総務省の返礼品見直し指示の影響もあり、寄附額と市民税控除額の差は若干改善していくと捉えている。



◆入曽地区地域交流施設(仮称)整備事業の現状
これまでの経緯や整備の基本方針、現時点での設計内容、今後のスケジュールなどについて所管事務調査を実施した。

▲整備事業の費用はどのくらいか。
▲現時点で、設計委託料、旧格技場解体工事費、新築工事費など合計6億9千240万2千円。なお、防衛省から、定額補助と太陽光発電パネル設置に対する補助の合計2億3千471万円の補助金が受けられる予定。

子どもから高齢者まで 生き生きと暮らしていけるために

文教厚生委員会

◆一般会計歳入歳出決算認定
国の交付金による介護事業所へのスプリンクラー設置対象施設は。

▲5つある対象施設のうち、要介護3以上の方が多く利用する2施設が今回の対象となった。

◆介護サービスの執行率低下の要因は。
▲要介護認定者数が計画値より低い水準で推移したことが大きな要因と考える。

◆市民後見人の育成状況は。
▲28年度に、市民後見人養成講座基礎編を開催し、8人が受講した。29年度は、応用編の開催を予定している。



◆狭山市の生活保護率は、近隣市と比べて低い。その要因は。
▲就労支援員と連携し、積極的な支援を行ってきた成果と考えている。

◆中学生学習支援事業「さやまっ子茶レンジスクール」の課題と委託先は。
▲課題は、参加人数が少ない中学校区があること。委託先は、さやま市民大学同窓会である。

住み良い狭山市の構築と環境問題

建設環境委員会

◆一般会計歳入歳出決算認定
建設環境委員会では、決算認定にあたり委員から次のような意見があった。

○狭山市駅上諏訪線は、地元の意見に十分配慮し、交通安全対策を万全に図りたい。○入曽駅周辺整備事業は、丁寧な住民対応をしながら進めてほしい。○狭山工業団地拡張地区基盤整備事業は、地権者との円滑な協議を行い、狭山市の産業の活性化の面から、スピード感をもって事業に取り組みたい。○住宅用省エネルギーシステムの積極的な周知と、さらなる推進に取り組みたい

◆市道路線の認定
市道の認定にあたり、現地調査を実施。狭山市駅上諏訪線の視察(2ページ写真参照)では、道路延長が長く、図面だけでは理解しにくい部分も確認している。

◆市民団体との意見交換会
「NPO法人さやま環境市民ネットワーク」との意見交換会を行ない、環境教育、不老川の河川改修などの意見が交わされた。(16ページ参照)



ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページでのご覧いただけません。ホームページでのご覧になれない方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。

04-29953-1111 内線3313

そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネット録画配信をしています。また、議員名の横の2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)。

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。9月定例会では、17名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】



ししまい
鹿子舞など、無形民俗文化財
継承は喫緊の課題
中村 正義 (はつらつ)

その他のテーマ

- ▶ 池田満寿夫氏作陶の活用を!
- ▶ 博物館資料の完全目録化を!
- ▶ お茶香るまち事業の徹底を!



◆無形民俗文化財の後継者育成と継承

鹿子舞(獅子舞)・囃子・甘酒祭りなどは高齢化の波にあらがえず、後継者不足は深刻で、技の継承ができないのが実情であり、後継者の育成は喫緊の課題である。この状況をどのようにとらえ、永く後世に伝えるために、どう考えるか。
生涯学習部長 無形文化財は、一度途絶えてしまうと復活させることは容易でなく、これを継承していくには、関係者のみならず、地域と行政が連携・協力して取り組む必要があると考える。

るが、見解は。

教育長 膨大な資料のデータベース化は、多くの時間と労力が必要で、詳細なデータベース化には至っていないが、今後取り組んでいく。

生涯学習部長 資料の研究は、博物館協議会などの意見を参考に、大学などの研究機関とも連携して、研究体制づくりを検討していきたい。



開館以来26年の博物館

◆博物館資料の完全目録化と研究体制確立

資料の寄託・寄贈者の思いを真摯に受け止め、早急に完全なデータベース化を図り、市自らの研究と研究者のサポート体制を図るべきと考え

お知らせ

総務経済委員会で委員長と副委員長の変更がありました。

- | | |
|-------|------|
| 中村 正義 | 委員長 |
| 三浦 和也 | 副委員長 |
| 太田 博希 | 委員 |
| 西塚 和音 | 委員 |
| 加賀谷 勉 | 委員 |
| 猪股 嘉直 | 委員 |
| 磯野 和夫 | 委員 |
| 田村 秀二 | 委員 |

市議会を傍聴しませんか!?

狭山市議会は、本会議・委員会とも、どなたでも傍聴ができます。小さなお子さん連れの方も入場できますので、ぜひ、お越しください。また、手話通訳や要約筆記の派遣をご希望の方は、事前に議会事務局へお問い合わせください。



議場での要約筆記

パソコンで! スマートフォンで! 狭山市議会をインターネットで

ライブ中継 本会議をライブで配信します。(委員会は除く)

録画配信 本会議開催日のおよそ1週間後に配信します。

<http://www.info.city.sayama.saitama.jp/gijiroku/>



狭山市を文化芸術の薫るまちに



高橋ブラクソン久美子 (無所属)



その他のテーマ

- ▶ 30年度の予算編成方針は
- ▶ 自死の第三者機関での検証は
- ▶ 情報政策官への組織対応は

◆文化政策

①狭山市出身、在住の文化人・美術家の作品などが散逸しないように、買い上げては。

②入曽駅前や入間中学校跡地に、有名な方の大きな彫塑などを設置し、狭山市のシンボルとしてはどうか。

③狭山市出身の著名な建築家の作品を市内に1館は建てるべき。市の品格を高めるために、入曽地区地域交流施設(仮称)や入曽駅の駅舎の設計を依頼してはどうか。

市長 ①狭山市にゆかりのある芸術家や文化人の作品に、身近に触れ親しむことのできる機会や場を設けることは、市民の地域に対する愛着心や誇りを醸成することにもつながると考えている。こうしたことから、現在、狭山市ゆかりの

文化人の作品取得を検討している。

②入曽駅前開発や入間中学校跡地の活用を進める上での提案の一つとして受けとめたい。

③入曽地区地域交流施設(仮称)は、既に設計業者が決定し、整備推進委員会の意見などを聞きながら設計を進めている。入曽駅の駅舎の設計は、提案の一つとして受けとめたい。



もっと狭山に芸術を

都市計画を 明日の入曽地区づくりに!



西塚 和音 (創造)



その他のテーマ

- ▶ 市街化に編入されるケースは
- ▶ 昨年水害を受けた平屋件数は
- ▶ 他市の自助・共助の取り組みは

◆市街化調整区域の開発

①近隣市に比較し市街化区域が面的に少なく見えるが、開発は限定的なのか。

②調整区域内の開発許可における周辺との調和は、どのように担保されているか。

都市建設部長 ①狭山市の面積4,904㍍のうち、市街化区域の面積が1,442㍍で約3割を占めている。近隣市と比較しても大きな差はなく、市街化区域の面積が相対的に少ないという状況にはない。
②都市計画法に基づく技術基準のほか、狭山市の条例などに基づき、開発内容に応じて周辺地域との調和を図るよう指導している。

に有用な救助用ゴムボートを配備しては。

危機管理監 救助用ゴムボートは、埼玉西部消防組合に配備しているが、浸水被害が広範にわたる場合などでは、救助活動が遅れることも想定される。こうした場合、地域の消防団や自主防災組織の救助活動が大変重要と考えており、救助用ゴムボートの配備を今後検討していきたい。



入曽地区の市街化調整区域

◆昨年の台風9号の水害の教訓を活かす

自主防災組織や消防団の救助を補完するため

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧にならない方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。
04-2953-1111 内線3313



12月定例会の予定

11月29日(水) 開会、議案説明
12月1日(金) 議案質疑
4日(月)～5日(火) 常任委員会
7日(木)～11日(月) 一般質問
15日(金) 委員長報告、採決、閉会

土・日曜日を除く。日程は変更になる場合があります。
問合せ議会事務局へ ☎04-2953-1111 内線3311
FAX 04-2955-2396

ケーブルテレビ議会情報番組
『with ゆう 市議会』
これからの放送予定

1月19日～1月25日

放送開始時間は
7時30分、13時00分、17時30分、19時40分、22時30分
ぜひご覧ください

さやま議会だよりの点字版は
市役所・図書館などで閲覧できます

編集後記

「秋」学校や公民館、地域での文化祭が多く催される季節です。昔から続く文化、新たに作られている文化とさまざまにあります。私たちの生活にかかわる一つひとつが文化であると言えます。時がかわろうと、時代時代の文化を後世まで遺していくために、関係者の理解と協力を得ながら、各文化財を、行きやすい、観やすい、覚えやすいなど、市民に関心を持っていただくための環境を整備しつつ、子孫に遺していきたいものです。
(中村 記)

次号の議会だよりは2月9日発行

広報委員会

委員長 千葉良秋
副委員長 三浦和也
委員 西塚和一
委員 矢馳方隆
委員 土貫伸子
委員 綿沢えみ
委員 大村正
委員 中村

市議会の活動

各種団体との意見交換

●自治会連合会

10月17日(火)、狭山市自治会連合会の皆さんと、正副議長、各委員会委員長などが出席し、意見交換会を開催しました。



意見交換はなごやかに

今年の意見交換のテーマは「狭山市が希望あふれるまちになるために」。出席者からは、「狭山市をよりよくする」ための思いの意見が出されました。また、会の冒頭では、議会からは各委員会の取り組み状況の報告が、自治会連合会からは視察研修会や入間川七夕まつりの活動報告などがありました。

●すこやかさやま連絡協議会

10月2日(月)、市内の健康づくり団体のうち「健康づくり推進協議会」「すこやか推進委員会」「すこやか体操普及



全員ですこやか体操を体験

指導員連絡会」で構成される「すこやかさやま連絡協議会」と文教厚生委員会が意見交換会を開催。協議会からは、食育カルタの作成や子ども向け・座ってできるすこやか体操を検討中などの報告があり、食事と運動の両面から健康づくりの大切さを共有できました。

●さやま環境市民ネットワーク

7月27日(木)に、建設環境委員7名と当該団体12名で、「狭山の環境課題とCO2削減」をテーマに意見交換を行いました。団体からは、4分科会の活動紹介などがあり、今回の意見交換会を契機に、今後も連携していくことを確認しました。



活発な意見交換

表紙の写真 市議会議員の活動状況

本会議や委員会活動のほか、他自治体への行政視察も実施しています。新潟県中魚沼郡津南町への視察では、町長や町議員からのおもてなしを受けた後、意見交換を実施。また、「子ども議会」では、事前準備や当日の受付・進行を手作りで、そして、「入間川七夕まつり」では、短冊に願い事を書き飾るコーナーと矢来飾りを出展しました。

